

JWA WAVE CHALLENGE 2022 HASHI WAVE CLASSIC



開催地：島根県江津市波子海水浴場

開催日：2022年9月17-18日

主催：一般社団法人日本ウィンドサーフィン協会（JWA）

協力/協賛：マジックアイランド/株式会社古城門設計事務所/浜田ライフセービングクラブ
/オンスカンパニー/スターボードジャパン/マニューバーライン

助成：この活動は「toto BIG」スポーツ振興くじ助成金を受けて行っています。

30年以上続く「HASHI WAVE CLASSIC」ここは中国エリアの人が集まるWAVEポイントの一つだ。

今回は、遠くは関東・中部・近畿・四国・九州からも選手が集まってくれた。

今回初めて訪れた私（吉武）は、まず海水の綺麗さにビックリさせられる。

順光に照らされた海は、いつも見ている海とはまた違ったロケーションが良い。こんな場所でWAVEができれば最高に気持ちが良いに決まっている。

日本海に面した山陰の海岸線は白い砂浜がずっと長く続き、サイドショアでも風が吹きだせば、あっという間に波が立つという。実際、大会前日は数名の選手が風と波に乗って楽しんでいた。

私もセイルとボードを手に取り海に浮かんでみたが、風が弱くなり、風と波に乗るのは次回へと持ち越しとなってしまった。

さて、コロナ禍で開催できなかった年もあり、約3年ぶりの開催となった今大会、WAVE種目/ファン
スラローム種目、延べ50名のエントリーとなりました。

また、台風14号の急速な発達を受け、動向に注視しながらの難しい判断に迫られる大会運営でした。

1日目、右からのサイドショアがお昼頃から軽く吹きだし、ファン斯拉ロームのメンズビギナークラス・ウィメンズクラスのレースからスタートとなった。

この2クラスは「ビーチスタート→ジャイブ（アウトサイドマーク）→ゴール」のコース順だ。

1レース目は、スタートから上手く飛び出したウィメンズクラス増田選手がトップフィニッシュとなった。2レース・3レース目は風をうまくつかみ走りだせたウィメンズクラス小野選手がトップフィニッシュを飾り、3レースの結果、1位 小野選手 2位 福本選手 3位 増田選手 ビギナークラスは1位 寺本選手となった。

続いてファン斯拉ローム/オープンクラス

このクラスは「ビーチスタート→ジャイブ（アウトサイドマーク①）→ジャイブ（インサイドマーク）→ジャイブ（アウトサイドマーク②）→ゴール」の順だ。

スタートからスルスルと抜け出した服部選手・井上選手が最初に風を掴みパンピング。

後続を突き離すようにプレーニングに入るも風が続き止まってしまう。

後方集団にいた森田選手が追い上げのパンピングを見せるも、ブローが薄く走りきれない。

そのまま、ファーストマークを回航し順位の変動はなくゴール。

1位 服部選手 2位 井上選手 3位 森田選手 となった。

ファン斯拉ローム/オープンクラスの選手達がゴールすると風も落ち着いてしまった。

台風14号の影響を考え明日の集合時間を7時に早めることをアナウンスし大会初日を終了。

2日目、宿を出た私は、山の木々が“わさわさ”揺れるのを見て、期待と緊張のなか車に乗り込んだ。

会場に到着し、期待と緊張は一気に冷めてしまった。風は吹いているのだが、オフショアで波がない。

しかもストレートオフショアの為、インサイドはガステー&シフティーだ。

ファン斯拉ロームもビーチスタート・ビーチフィニッシュの為、レースも難しい。

台風に向かって帰らなければならない選手もいる。

風の予報を見ても、台風の進路予想を見ても風向きが変わることは難しいと判断し、ファン斯拉ロームは昨日の成績を最終結果とし、WAVEクラスはコンテスト不成立として大会終了とした。

参加選手の方からは、早くも来年の大会開催を望む声を頂き、この大会の存在が西日本のWAVEシーンに無くてはならない物になっているのだと感じました。

私自身も、「ウィンドサーフィンにWAVEに皆と楽しみたい」という考えでいるので、この大会を続けてゆきたいと強く思っています。

ご支援・ご協力頂きました、西川様・古城門様 マジックイランド/株式会社古城門設計事務所
/浜田ライフセービングクラブ/オンズカンパニー/スターボードジャパン/マニューバーライン
この場を借りて、厚くお礼申し上げます ありがとうございました。

JWA WAVE委員長 吉武雅博

スポーツくらじ



